

2022年度

# 国際介護福祉科

## 1年生

### 授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F1-K01			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Care Japanese Basic I 介護日本語 I					国際介護福祉学科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	A 選択	180	6	森岡光秀・松本三知代 木村安代	
授業の目的						
学生が介護の理念や初歩的な専門知識、介護の周辺業務を理解するために、平易な日本語を用いて介護福祉士を目指すための初歩的な知識を身につける。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に関する基礎的な知識を理解し初歩的な支援技術を理解できる。</li> <li>・高齢者のこころとからだのしくみに関する初歩的な知識を理解できる。</li> <li>・利用者に適切な声掛けや職場において簡単な「報・連・相」ができる。</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期試験			50%	%	%	50%
随時試験			10%	%	%	10%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『始めよう介護福祉士国家試験対策』国際交流&日本語支援 Y 『介護の基本 I・II』(最新介護福祉士養成講座) 中央法規 『介護のしごとの基礎』(介護職員初任者研修) 『自律に向けた介護の実践』(介護職員初任者研修) 『介護福祉士国家試験対策 こころとからだのしくみⅢ』 中央法規 『段階別事例問題読解』国際交流&日本語支援 Y 『新カリキュラムⅡ「介護」-1』『新カリキュラムⅡ「介護」-2』国際交流&日本語支援 Y						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第13章 介護福祉士 (森岡)	2		
2. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第12章 介護にかかわる職種 (森岡)	2		
3. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第1章 日本の社会 (森岡)	2		
4. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第1章 日本の社会 (森岡)	2		
5. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第1・12・13章 問題と復習 (森岡)	2		
6. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第2章 高齢者の身体の特徴 (木村)	2		
7. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第2章 高齢者の身体の特徴 (木村)	2		
8. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第2章 高齢者の身体の特徴 (木村)	2		
9. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第2章 問題 復習 (木村)	2		
10. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第3章 人間の体 (木村)	2		
11. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第3章 人間の体 (木村)	2		
12. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第3章 人間の体 (木村)	2		
13. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第3章 人間の体 (木村)	2		
14. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第3章 人間の体 (木村)	2		
15. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第3章 問題・復習	2		
16. 振り返り 中間テスト (木村)	2	○	△
17. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第4章 脳血管疾患と認知症 (木村)	2		
18. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第4章 脳血管疾患と認知症 (木村)	2		
19. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第4章 脳血管疾患と認知症 (木村)	2		
20. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第4章 脳血管疾患と認知症 (木村)	2		
21. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第4章 脳血管疾患と認知症 (木村)	2		
22. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第4章 問題・復習 (木村)	2		
23. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第5章 高齢者に多い病気 (木村)	2		
24. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第5章 高齢者に多い病気 (木村)	2		
25. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第5章 高齢者に多い病気 (木村)	2		
26. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第6章 問題・復習 (木村)	2		
27. 振り返り 中間テスト (木村)	2	○	△
28. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第6章 「人間の尊厳と自立」と日本の法律 (森岡)	2		
29. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第6章 「人間の尊厳と自立」と日本の法律 (森岡)	2		

30. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第7章 日本の社会保険 (森岡)	2		
31. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第7章 日本の社会保険 (森岡)	2		
32. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第7章 日本の社会保険 (森岡)	2		
33. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第6・7章 問題・復習 (森岡)	2		
34. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第8章 介護保険について (森岡)	2		
35. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第8章 介護保険について (森岡)	2		
36. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第8章 介護保険について (森岡)	2		
37. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第9章 介護保険申請から認定まで (森岡)	2		
38. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第8・9章 問題・復習 (森岡)	2		
39. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第10章 介護保険のサービス (森岡)	2		
40. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第10章 介護保険のサービス (森岡)	2		
41. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第10章 介護保険のサービス (森岡)	2		
42. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第10章 介護サービスの利用方法 (森岡)	2		
43. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第11章 介護サービスの利用方法 (森岡)	2		
44. 始めよう介護福祉士国家試験対策 第10・11章 問題・復習 (森岡)	2		
45. 始めよう介護福祉士国家試験対策 小テスト	2	○	△
46. 介護日本語 事例読解 1・2・声かけ (松本)	2		
47. 介護日本語 事例読解 3・4・声かけ (松本)	2		
48. 介護日本語 事例読解 5・6・声かけ (松本)	2		
49. 介護日本語 事例読解 7・8・声かけ (松本)	2		
50. ころとからだのしくみ ころのしくみに関する概念 (木村)	2		
51. 介護日本語 事例読解 9・10 声かけ (松本)	2		
52. 介護日本語 記録練習 1 (松本)	2		
53. ころとからだのしくみ ころのしくみの理解 (木村)	2		
54. 介護日本語 事例読解 11・12 声かけ (松本)	2		
55. 介護日本語 記録練習 2 (松本)	2		
56. ころとからだのしくみ 人体各部のしくみ (木村)	2		
57. 介護日本語 事例読解 13・14 声かけ (松本)	2		
58. 介護日本語 記録練習 3 (松本)	2		
59. ころとからだのしくみ 骨と筋肉 (木村)	2		
60. 介護日本語 事例読解 15・16 声かけ (松本)	2		
61. 介護日本語 記録練習 4 (松本)	2		
62. ころとからだのしくみ 関節可動域とボディメカズム (木村)	2		
63. 介護日本語 事例読解 17・18 声かけ (松本)	2		
64. 介護日本語 記録練習 5 (松本)	2		
65. ころとからだのしくみ 脳と神経 (木村)	2		
66. 介護日本語 事例読解 19・20 声かけ (松本)	2		
67. 介護日本語 記録練習 6 (松本)	2		
68. ころとからだのしくみ 感覚器 (木村)	2		
69. 介護日本語 事例読解 21・22 声かけ (松本)	2		
70. 介護日本語 記録練習 チャレンジ 1 (松本)	2		

71. ころとからだのしくみ 呼吸器 (木村)	2		
72. 介護日本語 事例読解 23・24 声かけ (松本)	2		
73. 介護日本語 記録練習チャレンジ 2 (松本)	2		
74. ころとからだのしくみ 消化器 (木村)	2		
75. 介護日本語 事例読解 25・中級 1 声かけ (松本)	2		
76. 介護日本語 記録練習チャレンジ 3 (松本)	2		
77. ころとからだのしくみ 泌尿器 (木村)	2		
78. 介護日本語 事例読解中級 2・3 声かけ (松本)	2		
79. 介護日本語 記録練習チャレンジ 4 (松本)	2		
80. ころとからだのしくみ 内分泌/皮膚 (木村)	2		
81. 介護日本語 事例読解中級 4・5 声かけ (松本)	2		
82. 介護日本語 記録練習チャレンジ 5 (松本)	2		
83. ころとからだのしくみ 循環器 (木村)	2		
84. 介護日本語 事例読解中級 6・7 声かけ (松本)	2		
85. 介護日本語 記録練習チャレンジ 6 (松本)	2		
86. ころとからだのしくみ VS の変化 (木村)	2		
87. 介護日本語 事例読解中級 8・9 声かけ (松本)	2		
88. 介護日本語 記録練習チャレンジ 7 (松本)	2		
89. ころとからだのしくみ 定期試験 (木村)	2	○	○
90. 介護日本語 読解・記録まとめテスト (松本)	2	○	○
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F1-K02			
時間数は45分換算						
授業科目名				学科・コース		
Care Japanese Basic II 介護日本語Ⅱ				国際介護福祉士科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	A 選択	60	2	木村安代・松本三知代 ・森岡光秀	
授業の目的						
学生が、専門知識や専門技術を段階的に理解するために、初歩的な介護知識や介護技術、こころとからだのしくみの学習をする。日本語を用いて利用者のへの声かけ、簡単な報連相を学習する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に関する基礎的な知識を理解し初歩的な支援技術を理解できる。</li> <li>・高齢者のこころとからだのしくみに関する初歩的な知識を理解できる。</li> <li>・利用者に適切な声掛けや職場において簡単な「報・連・相」ができる。</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期試験			60%	%	%	60%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『始めよう介護福祉士国家試験対策』 中央法規 『最新介護福祉士養成講座 介護の基本Ⅰ・Ⅱ』 中央法規 『介護職員初任者研修 介護のしごとの基礎』 中央法規 『介護職員初任者研修 自律に向けた介護の実際』 中央法規 『介護福祉士国家試験対策 こころとからだのしくみⅢ』 中央法規 『新カリキュラムⅡ「介護」-1』『新カリキュラムⅡ「介護」-2』 国際交流&日本語支援Y						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 心のしくみに関する概念 適応障害 (木村)	2		
2. 介護日本語1 (読解・指示を聞く・仕事の記録・毎日の業務日報) (松本)	2		
3. からだのしくみの理解・脳の部位と機能・交感、副交感神経 (木村)	2		
4. 介護日本語2 (読解・指示を聞く・実習準備・個人情報データ作成) (松本)	2		
5. からだのしくみの理解・外呼吸・内呼吸・呼吸運動 (木村)	2		
6. 介護日本語3 (読解・記録 (実習準備) 利用者さんの様子) (松本)	2		
7. からだのしくみの理解 嚥下 (嚥下5期) 消化器 (内臓の働き) (木村)	2		
8. 介護日本語4 (記録 (実習準備) アルバイトの業務 5W1H) (松本)	2		
9. からだのしくみの理解 内分泌 (ホルモン名と働き) 皮膚 (褥瘡) (木村)	2		
10. からだのしくみの理解 心臓 (肺循環・体循環) (木村)	2		
11. 介護日本語5 (読解・記録 (実習準備) 考察) (松本)	2		
12. 認知症 (中核症状・BPSD) (木村)	2		
13. 介護日本語6 (施設) 理念・歴史) (松本)	2		
14. 認知症 (アルツハイマー型・血管性型・レビー型・前頭側頭型) (木村)	2		
15. 介護日本語7 (読解・記録 (実習準備) 考察) (松本)	2		
16. 発達と理解 (心筋梗塞・狭心症) 木村	2		
17. 発達と理解 (脳梗塞・脳出血) 木村	2		
18. 介護日本語8 (読解・記録 (実習準備) 考察) (松本)	2		
19. 発達と理解 (糖尿病・パーキンソン病) (木村)	2		
20. 介護日本語9 (まとめテスト) (松本)	2	○	○
21. 安楽な体位 良肢位 移動用具の紹介	2		
22. 誤嚥・咀嚼・食事の姿勢・介護者の姿勢	2		
23. 転倒転落を防ぐ歩行介助のポイント・視覚障害者の歩行介助の注意点	2		
24. トイレの姿勢・おむつ交換の手順	2		
25. 入浴ができない利用者の清潔保持	2		
26. 廃用性症候群・褥瘡のある人の介護	2		
27. 生活スタイルと生活習慣病	2		
28. 家事介護 (調理・掃除・洗濯)	2		
29. 介護支援技術 (まとめテスト)	2		
30. 介護支援技術 まとめと振り返り	2	○	○
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		

					2022 年度	
					科目コード	F1-K05
授 業 科 目 名					学 科 ・ コー ス	
Human Dignity and Self-Reliance 人間の尊厳と自立					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	2	森岡光秀・松本三知代	
授 業 の 目 的						
介護の仕事は対人支援であることから、人間の理解は重要である。学生は、尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養う。						
授 業 の 到 達 目 標						
① 人権思想・福祉理念の歴史的変遷を理解し、人間の尊厳・人権尊重及び権利擁護の考え方を習得できる。 ② 人間にとっての自立の意味と、本人主体の観点から、尊厳の保持や自己決定の考え方を習得できる。						
授 業 方 式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	○	
授 業 形 態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成 績 評 価 の 方 法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期試験			60%	%	%	60%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022 』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規 『最新介護福祉士養成講座 1 人間の理解』中央法規						



授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 人間の尊厳 自立と自律	2		
2. 日本の法制度・社会のしくみからみた人間の尊厳と自立	2		
3. 基本的人権 人権尊重のため介護福祉士に求められる義務	2		
4. 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷・歴史（社会的包摂・ジェンダー・ADL・権利擁護）	2		
5. 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷（アドボカシー・ノーマライゼーション・QOL・虐待）	2		
6. 自立と価値観（経済的・精神的・身体的・社会的）自立	2		
7. 自立と自立（自己選択・自己決定・自律・自立支援）	2		
8. 介護の理論の変遷（ICIDH と ICF）	2		
9. 社会福祉領域における日本の法律（憲法・社会福祉法・介護保険法・障害者基本法・障害者総合支援法）	2		
10. まとめ・テスト	2	○	○
11. まとめ ふりかえり	2		
12. まとめ ふりかえり	2		
13. 国家試験問題チャレンジ	2		
14. 国家試験問題チャレンジ	2		
15. 国家試験問題チャレンジ	2		
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F1-K06			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Relationships and Communication I 人間関係とコミュニケーション I					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	2	秋葉 聡	
授業の目的						
学生は、利用者や職員とのチームケアを実践できるよう、対人援助に必要な人間の関係性を理解し、人間関係形成に必要な基礎的なコミュニケーションを理解し、実践できる						
授業の到達目標						
1. 自己と他者、またその関係性について理解し、考察ができる。 2. コミュニケーションの概念と言語的・非言語的コミュニケーションの特徴・機能を理解し、考察ができる。 3. 受容・共感・傾聴といった基本的態度や援助関係のための原則が理解し、実践できる。 4. 利用者の症状別の特徴を理解し、それに必要な基礎的なコミュニケーションを実践できる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	○	
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業	○	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
定期試験		60%	%	%	60%	
随時課題		5%	5%	%	10%	
出席率		%	%	15%	15%	
授業態度		%	%	15%	15%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』 『最新介護福祉士養成講座 1 人間の理解』						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 人間関係の形成 人間関係の心理	2		
2. 対人関係とコミュニケーション（伝達媒体）	2		
3. 対人距離とコミュニケーションの技法（対人距離・非言語的コミュニケーション・対面法・直角法）	2		
4. 機器や道具を用いた言語的コミュニケーション（トーキングエイド・記録）	2		
5. 介護におけるコミュニケーションの基本 ①（自己覚知・自己開示・傾聴・共感・受容）	2		
6. 介護におけるコミュニケーションの基本 ②（質問・バイステックの7原則）	2		
7. 症状別：利用者とのコミュニケーション ①（視覚障害・聴覚障害・）	2		
8. 症状別：利用者とのコミュニケーション ②（構音障害・失語症）	2		
9. 家族とのコミュニケーション ①	2		
10. 家族とのコミュニケーション ②	2		
11. まとめ 単元テスト	2	○	○
12. ふりかえり まとめ	2		
13. 国家試験チャレンジ①	2		
14. 国家試験チャレンジ②	2		
15. 国家試験チャレンジ③	2		
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F1-K09			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Humans and society I 人間と社会 I					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	木村 安代	
授業の目的						
現代社会の基礎的問題を理解し、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える。 様々な文化や価値観を背景とする人々や社会について理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における衣食住・消費生活について理解し、日本で生活する上での基盤を習得する。</li> <li>・就労後を視野に入れた、消費活動や計画的金銭管理について経済的な自立と管理ができる。</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
発表		60%	%	%	60%	
随時課題		50%	5%	%	10%	
出席率		%	%	15%	15%	
授業態度		%	%	15%	15%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022 』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規 『始めよう介護福祉士国家試験対策』国際交流&日本語支援 Y						

## 授業内容・授業計画

内 容	時間	課題 試験	評価
1. 日本経済の動向や個人の消費・貯蓄について	2		
2. 日本経済の動向や個人の消費・貯蓄について	2		
3. 日本経済の動向や個人の消費・貯蓄について	2		
4. 個人における計画的金銭管理	2		
5. 個人における計画的金銭管理	2		
6. 日本の食文化	2		
7. 日本の食文化・母国との食文化との比較	2		
8. 介護施設の食事(メニューや食材の理解)	2		
9. 日本の衣文化	2		
10. 介護施設の利用者(高齢者・障害者)の衣服に関する知識	2		
11. 日本の住環境	2		
12. 介護施設の住環境や高齢者・障害者への配慮	2		
13. 発表準備	2		
14. 発表	2	○	○
15. 発表まとめ・振り返り	2		
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F1-K11			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Basics of care II 介護の基本 II					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	4	大城 貴浩	
授業の目的						
学生が介護を適切に行う能力と態度を身につけるために介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の歴史や介護問題の背景を理解し、介護福祉士の取り巻く社会状況を理解・考察できる。</li> <li>・介護の社会化の背景や、超高齢社会を担う専門職として介護福祉士に求められる社会的役割について理解・考察できる。</li> <li>・社会福祉士及び介護福祉士法誕生の背景及び改正ポイントを理解し、介護福祉士の定義と義務を理解・考察できる。</li> <li>・自立支援におけるエンパワメントと ICF の意義について理解・考察できる。</li> <li>・介護を必要とする人及び家族のさまざまな生活上の課題を理解・考察できる。</li> <li>・生活上の課題解決のための必要なサービスや、地域の中の社会資源について理解・考察できる。</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
評価項目						
定期試験		60%	%	%	60%	
随時課題		5%	5%	%	10%	
出席率		%	%	15%	15%	
授業態度		%	%	15%	15%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						

『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規  
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規  
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規  
『最新介護福祉士養成講座 3, 介護の基本Ⅰ』中央法規  
『最新介護福祉士養成講座 4, 介護の基本Ⅱ』中央法規

## 授業内容・授業計画

内 容	時間	課題 試験	評価
1. 【介護の歴史】 ・福祉三法 ・福祉六法 ・老人福祉法（老人家庭奉仕員） ・社会福祉士及び介護福祉士法成立（介護福祉士誕生）	2		
2. 【介護問題の背景】 ・少子高齢化社会 ・平均寿命 ・合計特殊出生率 ・介護保険導入の背景	2		
3. 【介護問題の背景】 ・介護保険法第1条（自立支援） ・措置制度→契約制度 ・応能負担→応益負担	2		
4. 【介護福祉士定義】 ・社会福祉士及び介護福祉士法 ・法の目的（第1章第1条） ・定義の変化（1987年制定→2007年改正→2011年改正）	2		
5. 【介護福祉士の義務規定】 ・社会福祉士及び介護福祉士法（第4章第44条の2誠実義務～第48条の2）	2		
6. 【介護福祉士の義務規定】 ・社会福祉士及び介護福祉士法（第5章罰則 ・第4章第48条の4欠落事項）	2		
7. 【介護の理念：尊厳】 ・日本国憲法（第11条：基本的人権の尊重） ・ノーマライゼーション ・QOL ・ADL	2		
8. 【介護の理念：自立】 ・社会福祉法（第3条福祉サービスの基本理念） 自己決定権（ライフスタイル・生命と身体） ・エンパワメント	2		
9. 【ICFの基本的な考え方】 ・ICF ・生活機能（心身機能・身体構造・活動・参加） ・背景因子（環境因子・個人因子） ・健康状態	2		
10. 【ICFの基本的な活用方法】 ・ICF ・生活機能（心身機能・身体構造・活動・参加） ・背景因子（環境因子・個人因子） ・健康状態	2		
11. 【リハビリテーションの理解】 ・リハビリテーションの理念（全人的復権） ・リハビリテーションの目的と役割（身体面 ・心理面）	2		
12. 【リハビリテーションの理解】 ・リハビリテーション体系（1968年4つの分野：世界貿易機関） ・理学療法士 ・作業療法士 ・言語聴覚士	2		
13. 【介護予防】 ・介護予防の目的（厚生労働省） ・介護予防事業 ・地域包括ケアシステム（自助・互助・共助・公助）	2		
14. まとめ（中間テスト）	2	○	△
15. 中間テストの振り返り 国家試験対策と振り返り	2		
16. 【高齢者の定義（WHO）】 ・高齢者 ・前期高齢者 ・後期高齢者 ・高齢者の世帯区分 ・高齢者の日常生活に関するさまざまな調査	2		
17. 【高齢者虐待】 ・高齢者虐待防止法（定義・虐待の種類・通報義務） ・高齢者虐待への対応	2		
18. 【介護を必要とする人の生活環境】 ・主な介護者の続柄 ・エコマップとジェノグラム 【介護者を支援する制度】 ・育児休業法	2		
19. 【障害者の定義】 ・身体障害者 ・精神障害者 ・知的障害者 ・障害者の取り巻く状況	2		
20. 【障害者の支援制度】 ・介護総合支援法 ・自立支援給付（介護給付・訓練給付）	2		
21. 【障害者の支援制度】 ・介護総合支援法 ・地域生活支援事業（市町村事業・都道府県事業）	2		
22. 【介護サービスの利用方法】 ・介護サービス計画の作成 ・介護支援専門員に依頼 ・ケアマネジメントについて ・ケアマネジメントの手順	2		
23. 【介護サービスの利用方法】 ・ケアプランの作成の原則 ・ケアプラン作成と実施までの手順 ・モニタリングから終結	2		

24. 【介護サービスの種類】・フォーマルサービス ・インフォーマルサービス ・地域連携	2		
25. 【居宅サービス】 ・訪問介護 ・訪問リハビリ ・通所介護 ・通所リハビリ ・短期入所生活介護 ・短期入所療養介護	2		
26. 【特定施設】 ・軽費老人ホーム ・都市型軽費老人ホーム ・有料老人ホーム ・サービス高齢者住宅 ・養護老人ホーム	2		
27. 【施設サービス】 ・介護老人福祉施設 ・介護老人保健施設 ・介護療養型医療施設 ・介護医療院 ・共生型サービス	2		
28. 【地域密着型サービス】 ・小規模多機能型居宅介護 ・認知症対応型通所介護/生活介護 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2		
29. 定期試験	2	○	○
30. 定期試験の振り返り 国家試験対策と振り返り	2		
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である。			



シラバス (授業概要)		年度	2022年度			
		科目コード	F1-K13			
時間数は45分換算						
授業科目名				学科・コース		
Communication skill I コミュニケーション技術 I				国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	池田 大翔	
授業の目的						
介護は対人援助であるため、コミュニケーション技術の習得や実践は重要である。学生は、利用者や職員とのチームケアを実践できるよう、コミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション技術を理解し、実践できる。						
授業の到達目標						
1. 介護におけるコミュニケーションの意義や対象を理解できる。 2. コミュニケーション態度における基本技術を理解し、実践できる。 3. 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本を理解し、実践できる。 4. 目的別のコミュニケーション技術を理解し、実践できる。 5. 集団におけるコミュニケーション技術を理解し、実践できる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
定期試験			60%	%	%	60%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規 『最新介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術』中央法規						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 介護におけるコミュニケーションとは？（尊厳の保持・QOR）	2		
2. 介護におけるコミュニケーションの対象（介護福祉職の職務の特徴 支援の対象と状況）	2		
3. 援助関係とコミュニケーション（ラポール バイステックの7原則）	2		
4. コミュニケーション態度に関する基本技術①（傾聴（傾聴のための技法）・受容・共感 自己覚知・対人距離）	2		
5. コミュニケーション態度に関する基本技術②（言語コミュニケーション・非言語コミュニケーション・準言語コミュニケーション）	2		
6. 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本①	2		
7. 言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本②	2		
8. 目的別のコミュニケーション技術①（動機づけ（外発的・内発的 自己決定性 自己効力感 受容感）思い込み リフレーミング 意志決定支援）	2		
9. 目的別のコミュニケーション技術②（動機づけ（外発的・内発的 自己決定性 自己効力感 受容感）思い込み リフレーミング 意志決定支援）	2		
10. 集団におけるコミュニケーション技術①（マズロー欲求階層説 自己実現 集団 回想法 集団運営）	2		
11. 集団におけるコミュニケーション技術②（マズロー欲求階層説 自己実現 集団 回想法 集団運営）	2		
12. 単元テスト	2	○	○
13. まとめと振り返り	2		
14. 国家試験チャレンジ	2		
15. 国家試験チャレンジ	2		
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
時間数は45分換算		科目コード	F1-15			
授業科目名				学科・コース		
Life support skill II 生活支援技術 II				国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	90	3	足立佳子・長瀬正孝・ 益田八千代・高橋真純・ 宮澤歌子・高木秀晃・ 中村久美子	
授業の目的						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた会議実技を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICF の視点を生活支援に活かす意義を理解し、生活の豊かさや心身の活性化のための支援につなげる</li> <li>・ 利用者の能力を活用・発揮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識・技術を習得する。</li> <li>・ 根拠に基づいた支援ができるよう知識・技術を身につける</li> <li>・ 安全・安楽な支援が提供できる</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業		
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
定期試験			30%	%	%	30%
技術試験			30%	%	%	30%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規						
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規						
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規						
『最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I』中央法規						
『最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術 II』中央法規						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1 移動の介護 ボディメカニクス・体位変換の介護 (仰臥位～側臥位・上方移動・平行移動)	1		
2 休息の介護 安楽な姿勢 体位変換の介護 (起き上がり～端座位・立位)	1		
3 移動・休息の介護【実技】	4		
4 歩行の介護 福祉用具・片麻痺の歩行介助・階段段差	3		
5 歩行の介護【実技】	4		
6 睡眠の介護 ベッドメイキングのポイント・手順	1		
7 睡眠の介護【実技】 ベッドメイク	6		
8 実技試験 ベッドメイク フィードバック	6	○	△
9 着脱の介護 手順とポイント	1		
10 着脱の介護 【実技】	6		
11 実技試験 着脱の介護 フィードバック	2	○	△
12 移乗の介護 移乗に関連した福祉用具 留意点	1		
13 移乗【実技】	6		
14 実技試験 移乗 車椅子→ベッド フィードバック	6	○	△
15 単元テスト	1	○	△
16 食事の介護 食事の姿勢・嚥下・脱水予防	1		
17 食事の介護 食事介助 口腔ケア	1		
18 食事の介護 【実技】	2		
19 排泄の介護 用具・便秘・下痢の対応	1		
20 排泄の介護 トイレ ポータブルトイレでの排泄	1		
21 排泄の介護 【実技】 トイレ ポータブルトイレでの排泄	4		
22 排泄の介護 おむつ交換 陰部洗浄	1		
23 排泄の介護 【実技】 おむつ交換	4		
24 実技試験 おむつ交換 フィードバック	6	○	△
25 清潔の介護 清拭 手浴 足浴 洗髪	6		
26 入浴の介護 入浴の効果 事故予防 介助の流れ	1		
27 入浴の介護【実技】	6		
28 家事の介護 障害者マーク クーリングオフ 洗濯表示	1		
29 緊急の介護 手当 (感染予防・止血法) 骨折と打撲の対応 応急処置 救急車の手配	4		
30 終末期の介護	1		
31 単元テスト	1	○	△
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度
					科目コード	F1-K17
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Process of care I 介護過程 I					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	木田 敦子	
授業の目的						
学生は、利用者が望む生活の実現に向けた介護実践のために、介護過程の分析を行い、根拠に基づく課題解決の思考過程を習得する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の意義、目的、展開上の基本を理解できる。</li> <li>・アセスメントの基本を理解できる。</li> <li>・介護過程に関する基礎的な知識を活用し、介護過程を立案・展開できる。</li> <li>・立案・展開した介護過程を評価できる。</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期試験			60%	%	%	60%
随時課題			5	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規 『最新介護福祉士養成講座 9 介護過程』中央法規						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1.【介護過程の意義】 ・介護過程の意義と目的 ・介護過程のプロセス（アセスメント→計画の立案→実施→評価）	2		
2.【アセスメント】 ・情報収集に関する手段 ・情報収集が果たす役割（ICFの視点）	2		
3.【アセスメント】 ・情報の記載の方法（情報収集）	2		
4.【アセスメント】 ・情報の解釈→関連付け→統合化→課題の明確化（一連の流れ）	2		
5.【アセスメント】 ・情報の記載の方法（情報の解釈・関連付け・統合化）	2		
6.【介護計画の立案】 ・介護目標の設定（長期目標 ・短期目標 ） ・具体的な支援内容・方法について	2		
7.【実施・評価】 ・介護の実施における留意点 ・評価内容と方法 ・評価後の流れ（計画の修正等）	2		
8.【まとめ】 単元テスト	2	○	○
9.【まとめ】 振り返り（国家試験対策） ・介護過程の実践展開について *ワークシートの配布	2		
10.【介護過程の実践展開Ⅰ】 ワークシートの振り返りと修正（実習目的：利用者との関わりを軸とした実習）	2		
11.【介護過程の実践展開Ⅰ】 ワークシートの振り返りと修正（実習目的：利用者との関わりを軸とした実習）	2		
12.【介護過程の実践展開Ⅰ】 ワークシートの振り返りと修正（実習目的：利用者との関わりを軸とした実習）	2		
13.【介護過程の実践展開Ⅱ】 ワークシートの振り返りと修正（実習目的：介護技術の実践を軸にした介護実習）	2		
14.【介護過程の実践展開Ⅱ】 ワークシートの振り返りと修正（実習目的：介護技術の実践を軸にした介護実習）	2		
15.【介護過程の実践展開Ⅱ】 ワークシートの振り返りと修正（実習目的：介護技術の実践を軸にした介護実習）	2		
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F1-K19			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Comprehensive Care Seminar I 介護総合演習 I					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	渡邊 友規	
授業の目的						
学生は、介護実習を行うために、介護実践に必要な知識と技術の統合や、学生自ら介護観を形成し、専門職としての態度を習得する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の意義・目的・目標が理解できる。</li> <li>・実習記録の意義を理解し専門職として適切な記録を書くことができる。</li> <li>・実習目標に対して、自己評価し、学習効果をまとめることができる。</li> </ul>						
授業方式						
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型		
授業形態						
講義	<input type="radio"/>	演習	<input type="radio"/>	実験・実習・実技	<input type="radio"/>	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク		プレゼンテーション	<input type="radio"/>	
ロールプレイ	<input type="radio"/>	PBL	<input type="radio"/>	反転授業		
対話・議論型授業	<input type="radio"/>	調査学習	<input type="radio"/>	教えあい授業	<input type="radio"/>	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
実習発表			60%	%	%	60%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』 『最新介護福祉士養成講座 10 介護総合演習 I 介護実習』						
授業内容・授業計画						

内 容	時間	課題 試験	評価
1.【実習前】 ・オリエンテーション（介護実習の意義と目的 実習にのぞむためのマナーや心得）	2		
2.【実習前】 ・実習先の特徴（高齢者領域） ・実習先での学び ・事前訪問の準備	2		
3.【実習前】 ・個人票の作成	2		
4.【実習前】 ・実習目標の作成（総括目標 行動目標）	2		
5.【実習前】 ・介護実習記録の書き方	2		
6.【実習前】 ・実習関係書類の作成（個人票 総括目標 行動目標）	2		
7.【実習前】 ・オリエンテーション（事前訪問）	2		
8.【実習前】 ・介護実習Ⅰに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業	2		
9.【帰校日】 ・記録の整理 ・記録の書き方指導 ・悩み相談など	2		
10.【帰校日】 ・記録の整理 ・記録の書き方指導 ・悩み相談など	2		
11.【帰校日】 ・記録の整理 ・記録の書き方指導 ・悩み相談など	2		
12.【実習後】 ・お礼状作成	2		
13.【実習後】 ・実習ファイル（実習ノート）の提出と記録類の振り返り	2		
14.【実習後】 ・実習報告書類の作成、実習報告会準備	2		
15.【実習後】 ・実習報告会（振り返り）	2	○	○
16.【実習前】 ・オリエンテーション（介護実習の意義と目的 ・実習にのぞむためのマナーや心得）	2		
17.【実習前】 ・実習先の特徴（高齢者 障害者領域） ・実習先での学び ・事前訪問の準備	2		
18.【実習前】 ・個人票の作成	2		
19.【実習前】 ・実習目標の作成（総括目標 行動目標）	2		
20.【実習前】 ・介護実習記録の書き方	2		
21.【実習前】 ・実習関係書類の作成（個人票 総括目標 行動目標）	2		
22.【実習前】 ・オリエンテーション（事前訪問）	2		
23.【実習前】 ・介護実習Ⅰに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業	2		
24.【帰校日】 ・記録の整理 ・記録の書き方指導 ・悩み相談など	2		
25.【帰校日】 ・記録の整理 ・記録の書き方指導 ・悩み相談など	2		
26.【帰校日】 ・記録の整理 ・記録の書き方指導 ・悩み相談など	2		
27.【実習後】 ・お礼状作成、実習報告会準備	2		
28.【実習後】 ・実習ファイル（実習ノート）の提出と記録類の振り返り	2		
29.【実習後】 ・実習報告書類の作成	2		
30.【実習後】 ・実習報告会（振り返り）	2	○	○
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である			



シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F1-K21			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Care Training I 介護実習 I					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	300	10	木村安代・森岡光秀	
授業の目的						
介護実習は、介護の現場で実際に利用者や介護の仕事を体験できる重要な機会である。学生は利用者の生活を理解するために、利用者本人や家族とのコミュニケーションや生活支援等の基礎的な実践を行い、習得する。						
授業の到達目標						
① 利用者や利用者家族、実習施設の職員と、適切なコミュニケーションをとることができる。 ② 多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解し、考察する。 ③ 利用者の生活や施設の役割を理解し、地域における生活支援を実践的に体得する。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習		実験・実習・実技		○
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		○
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業		○
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
目標設定・課題への取り組み			30%	20%	10%	60%
実習態度・意欲・内省			%	20%	20%	40%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『最新介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習』中央法規						

**授業内容・授業計画**

内 容	時間	課題 試験	評価
第 1 回目実習			
・ 第 1 週目～第 2 週目			
利用者や実習先施設の職員と積極的にコミュニケーションを図る			
・ 第 3 週目～第 4 週目			
利用者の生活状況全体を把握する。			
第 2 回目実習			
・ 第 1 週目～第 4 週目			
基本的な介護技術の確認、実践を行う。			
利用者の生活状況・身体状況を把握し、介護過程に展開する。			
他業種と連携しながら、介護福祉士の役割を理解する。			
実習において、1 週間に 1 度、帰校日を設け、実習の振り返りと			
指導を受ける。		○	○
実習期間中は、実習日誌（学校指定の書式）の記録を行う。		○	△
<b>その他</b>		<b>関連科目</b>	

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度		
		科目コード	F1-K23		
時間数は45分換算					
授業科目名					学科・コース
How mind and body work I ..... こころとからだのしくみ I					国際介護福祉科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	小田 猛士
授業の目的					
学生が介護を必要とする人の生活支援を行うために、介護実践の根拠となる人間の心理・人体の構造や機能を理解するために学習し知識を習得する。					
授業の到達目標					
生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識を習得し、生活支援の場面に応じたこころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解・考察することができる。					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価項目		評価観点			配点計
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	
試験		60%	%	%	60%
随時課題		5%	5%	%	10%
出席率		%	%	15%	15%
授業態度		%	%	15%	15%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規					
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規					
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規					
『最新介護福祉士養成講座 コミュニケーション技術』中央法規					
『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢこころとからだのしくみ』中央法規					

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 移動に関連したところとからだのしくみ (1)	2		
2. 移動に関連したところとからだのしくみ (2)	2		
3. 身じたくに関連したところとからだのしくみ (1)	2		
4. 食事に関連したところとからだのしくみ (1)	2		
5. 食事に関連したところとからだのしくみ (2)	2		
6. 入浴、清拭保清に関連したところとからだのしくみ (1)	2		
7. 入浴、清拭保清に関連したところとからだのしくみ (2)	2		
8. 排泄に関連したところとからだのしくみ (1)	2		
9. 排泄に関連したところとからだのしくみ (2)	2		
10. 排泄に関連したところとからだのしくみ (3)	2		
11. 睡眠に関連したところとからだのしくみ (1)	2		
12. 睡眠に関連したところとからだのしくみ (2)	2		
13. 死にゆく人のところとからだのしくみ (1)	2		
14. 死にゆく人のところとからだのしくみ (2)	2		
15. 定期試験	2	○	○
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	F1-K25	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Understanding development and aging I 発達と老化の理解 I					国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	2	木村 安代		
授業の目的							
<p>学生が人間の成長と発達の過程において、身体的・心理的变化及び老化が生活に及ぼす影響を学習し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的な知識を習得する。</p>							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期（乳幼児期・学童期・思春期・成人期・老年期）の身体的・心理的・社会的特徴と発達課題での特徴的な疾病について理解・考察することが出来る。</li> <li>・老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や、高齢者に多くみられる疾病と生活への影響、健康維持増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を学習し高齢者介護にいかすことが出来る。</li> </ul>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
試験			60%	%	%	60%	
随時課題			5%	5%	%	10%	
出席率			%	%	15%	15%	
授業態度			%	%	15%	15%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
使用テキスト・教材							
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規							
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規							
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規							
『最新介護福祉士養成講座 コミュニケーション技術』中央法規							
『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢ ところとからだのしくみ』中央法規							



シラバス (授業概要)					年度	2022 年度		
					科目コード	F1-K27		
時間数は45分換算								
授業科目名					学科・コース			
Understanding dementia I 認知症の理解 I					国際介護福祉科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
1	通年	必修	30	2	木村 安代			
授業の目的								
<p>学生が認知症の人の心理や身体機能・社会的側面にかんする基礎的な知識を習得し、認知症の人を中心に本人や家族・地域の力を生かした認知症ケアについて理解するために基本的な知識を習得する。</p>								
授業の到達目標								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症のケアの歴史や理念を含む、認知症を取り巻く社会的環境についての知識を習得することが出来る。</li> <li>・医学・心理的側面から、認知症の原因となる疾病及び会話に応じた心身の変化や心理的状況を学習し生活支援技術を行うための知識を理解し認知症に生かすことが出来る。</li> </ul>								
授業方式								
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型				
授業形態								
講義	○	演習	○	実験・実習・実技				
アクティブ・ラーニング								
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション				
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業				
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○			
その他								
成績評価の方法								
評価項目		評価観点			知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
試験					60%	%	%	60%
随時課題					5%	5%	%	10%
出席率					%	%	15%	15%
授業態度					%	%	15%	15%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
使用テキスト・教材								
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規								
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規								
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規								
『最新介護福祉士養成講座 コミュニケーション技術』中央法規								
『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢ ところとからだのしくみ』中央法規								





シラバス (授業概要)		年度	2022 年度				
		科目コード	F1-K29				
時間数は45分換算							
授業科目名				学科・コース			
Understanding failures I 障害の理解 I				国際介護福祉科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	佐野 公一 木村 安代		
授業の目的							
<p>学生が障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を学習し、障害のある人の地域の生活や本人・家族や地域を含めた周囲の環境への支援をするために基礎的な知識を習得する。</p>							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人の生活支援をするために、障害の概念や障害の特性に応じた制度の基礎的な知識を習得できる。</li> <li>・医学的・心理的側面から障害による心身心理的影響を学習し理解・考察することができる。</li> <li>・障害のある人のライフステージや障害の特性を踏まえ、機能の変化が生活に及ぼす影響を理解しQOLを高める支援をすることができる。</li> </ul>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目	評価観点			知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
試験				60%	%	%	60%
随時課題				5%	5%	%	10%
出席率				%	%	15%	15%
授業態度				%	%	15%	15%
				%	%	%	%
				%	%	%	%
				%	%	%	%
使用テキスト・教材							
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規 『最新介護福祉士養成講座 障害の理解』中央法規 『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢ ところとからだのしくみ』中央法規							

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 障害の基本的理解 ・ 障害の理念・ICDH と ICF ・ 身体障害者手帳その他の手帳	2		
2. 障害者の基本的理解 ・ 障害者福祉の流れと基本理念の ^ マライゼーション ・ インテグレーション	2		
3. 障害者福祉の基本的理念 ・ 日本の福祉制度の歴史 ・ 障害者福祉政策の流れ	2		
4. 感覚機能障害 ・ 視覚障害と介護 ・ 視覚障害の種類・原因 ・ 特徴	2		
5. 機能感覚障害 ・ 聴覚障害と介護 ・ 聴覚障害の分類 ・ コミュニケーション	2		
6. 感覚機能障害 ・ 言語障害と介護 ・ 言語機能障害の分類 ・ 重複障害と介護 ・ 重複障害者の支援	2		
7. 身体障害者 ・ 肢体不自由と介護 ・ 肢体不自由の原因と支援	2		
8. 身体障害者 ・ 重度身体障害者と介護 ・ 重度身体障害児者と介護	2		
9. 内部障害 ・ 内部障害と介護 ・ 内部障害の種類	2		
10. 精神障害 ・ 精神障害と介護 ・ 統合失調症 ・ 気分障害 ・ アルコール依存症 ・ 精神障害者の治療法	2		
11. 定期試験	2	○	○
12. まとめ	2		
13. まとめ	2		
14. まとめ	2		
15. まとめ	2		
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		
実務経験のある教員が担当する科目である。			

2022年度

# 国際介護福祉科

## 2年生

### 授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F2-K07			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Relationships and Communication II 人間関係とコミュニケーションII					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	2	森岡光秀	
授業の目的						
介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。						
授業の到達目標						
介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用等の人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワーシップ等、チーム運営の基本を理解する。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期試験			50%	%	%	50%
随時試験			10%	%	%	10%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022 』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規 『最新介護福祉士養成講座1 人間の理解』中央法規 『2022 介護福祉士国家試験受験ワークブック上』中央法規						



シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	F2-K08	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Understnding of society 社会の理解					国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	60	4	松本三知代・森岡光秀		
授業の目的							
<p>1. 個や集団、社会の単位で人間を理解する視点を養い、生活と社会の関係性を体系的に捉えることができる。</p> <p>2. 対象者の生活の場として地域という観点から、地域共生社会や地域包括ケアの基礎的な知識を身に付けることができる。</p> <p>3. 日本の社会保障の基本的な考え方、しくみについて理解できる。</p> <p>4. 高齢者福祉、障害者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を身に付けることができる。</p>							
授業の到達目標							
<p>1. 個人・家族・地域・社会のしくみと、地域における生活の構造について学び、生活と社会の関わりや自助・互助・共助・公助の展開について理解できる。</p> <p>2. 地域共生社会や地域包括システムの基本的な考え方としくみ、その実現のための制度・施策を理解できる。</p> <p>3. 社会保障制度の基本的な考え方としくみを理解するとともに、社会保障の現状を課題を捉えることができる。</p> <p>4. 高齢者福祉制度の基本的な考え方としくみ、介護保険制度の内容を理解し、高齢者福祉の現状を課題を捉えることができる。</p> <p>5. 障害者福祉制度の基本的な考え方としくみ、障害者総合支援法の内容を理解し、障害者福祉の現状と課題を捉えることができる。</p> <p>6. 人間の尊厳と自立に関わる権利擁護や個人情報保護等、介護実践に関わる制度・施策の基本的な考え方と仕組みが理解できる。</p>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○		
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ		PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
定期試験			60%	%	%	60%	
随時課題			10%	%	%	10%	
出席率			%	%	15%	15%	
授業態度			%	%	15%	15%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	

使用テキスト・教材			
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規			
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022』中央法規			
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規			
『最新介護福祉士養成講座 1 人間の理解』中央法規			
『2022 介護福祉士国家試験受験ワークブック上』中央法規			
授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 社会と生活のしくみ①（生活の構成要素・ライフスタイルの変化・格差社会の進行）	2		
2. 社会と生活のしくみ②（家族・家庭生活の基本機能、家族の機能と役割・多様化）	2		
3. 社会と生活のしくみ③（ライフスタイルの変化（少子化等）	2		
4. 社会と生活のしくみ④（育児と介護）	2		
5. 地域共生社会の実現に向けた制度や施策①（地域共生社会 コミュニティー）	2		
6. 地域共生社会の実現に向けた制度や施策②（都市化と過疎化 地域社会の集団組織 行政組織）	2		
7. 社会保障制度①（生活支援と福祉 社会福祉・社会保障の構造 福祉三法）	2		
8. 社会保障制度②（福祉三法・福祉六法・法体系）	2		
9. 社会保障制度③（社会保障制度の概要・社会福祉の歴史・サービス利用方法）	2		
10. 社会保障制度④（医療保険・年金保険）	2		
11. 社会保障制度⑤（雇用保険・労働保険）	2		
12. 高齢者福祉と介護保険制度①（介護保険制度の成り立ち・基礎的理解）	2		
13. 高齢者福祉と介護保険制度②（介護保険のしくみの概要）	2		
14. 高齢者福祉と介護保険制度③（介護サービス利用までの流れ）	2		
15. 高齢者福祉と社会保障制度④（サービスの種類）	2		
16. 高齢者福祉と介護保険制度⑤（地域密着型サービス 共生型）	2		
17. 高齢者福祉と介護保険制度⑥（施設サービス・居宅サービス・介護予防サービス）	2		
18. 高齢者福祉と介護保険制度⑦（地域密着型サービス・地域密着型予防サービス・共生型サービス・地域包括支援センター）	2		
19. 高齢者福祉と介護保険制度⑧（介護保険制度における組織、団体の機能と役割・専門職の役割）	2		
20. 障害者福祉と障害者保険福祉制度①（障害者自立支援制度）	2		
21. 障害者福祉と障害者保険福祉制度②（自立支援給付と地域生活支援事業）	2		
22. 障害者福祉と障害者保険福祉制度③（介護給付の障害福祉サービス・共生型障害福祉サービス）	2		
23. 障害者福祉と障害者保険福祉制度④（地域相談支援と計画相談支援・障害福祉サービス利用の流れ）	2		
24. 障害者福祉と障害者保険福祉制度⑤（障害者自立支援制度における組織、団体の機能と役割）	2		
25. 介護実践に関連する諸制度①（個人の権利を守る制度の概要 成年後見制度）	2		
26. 介護実践に関連する諸制度②（権利擁護のしくみ 消費者保護に関する制度）	2		
27. 介護実践に関連する諸制度③（虐待防止に関する制度）	2		
28. 介護実践に関連する諸制度④（保険医療福祉に関する施策の概要）	2		

29. 介護実践に関する諸制度⑤(介護と関連領域との連携に必要な法規)	2		
30. まとめ (単元テスト)	2	○	○
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		



シラバス (授業概要)					年度	2022年度	
					科目コード	F2-K09	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Humans and society I 人間と社会 I					国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	木村 安代		
授業の目的							
現代社会の基礎的問題を理解し、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える。 様々な文化や価値観を背景とする人々や社会について理解する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における衣食住・消費生活について理解し、日本で生活する上での基盤を習得する。</li> <li>・就労後を視野に入れた、消費活動や計画的金銭管理について経済的な自立と管理ができる。</li> </ul>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
発表			60%	%	%	60%	
随時課題			5%	5%	%	10%	
出席率			%	%	%	15%	
授業態度			%	%	15%	15%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
使用テキスト・教材							
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規 『始めよう介護福祉士国家試験対策』国際交流&日本語支援 Y							



シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F2-K10			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Humans and society II 人間と社会 II					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	森岡光秀	
授業の目的						
安全な介護実践を行うための基礎的な知識を身に付ける。 ・介護・福祉に関する基本的な知識、並びに「人間と社会の領域」に関する介護福祉士国家試験に対応できる知識を習得する						
授業の到達目標						
介護・福祉に関する基本的な知識を習得できる。 「人間と社会の領域」に関する介護福祉士国家試験に対応できる知識を身に付ける。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
定期試験		40%	%	%	40%	
随時試験		10%	%	%	10%	
発表		10%	%	10%	20%	
出席率		%	%	15%	15%	
授業態度		%	%	15%	15%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規 『始めよう介護福祉士国家試験対策』国際交流 & 日本語支援 Y 『2022 介護福祉士国家試験受験ワークブック上 下』中央法規						



シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F2-K12			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Basics of careⅢ 介護の基本Ⅲ					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	4	森岡光秀	
授業の目的						
介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種協働による介護を実践するために、保健・医療・福祉に関する他の職種の専門性や役割と機能を理解する。</li> <li>・介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解するとともに、安全の確保のための基礎的な知識や事故への対応を理解する。</li> <li>・介護従事者自身が心身ともに健康に、介護を実践するための健康管理や労働環境の管理について理解する</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期試験			50%	%	%	50%
随時試験			10%	%	%	10%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規						
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022』中央法規						
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規						
『最新介護福祉士養成講座 介護の基本 I II』中央法規						
『2022 介護福祉士国家試験受験ワークブック上』中央法規						



シラバス (授業概要)					年度	2022年度	
					科目コード	F2-K14	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Communication skill II コミュニケーション技術II					国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	1	村上貴子		
授業の目的							
対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養う学習とする。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の置かれている状況・場面を理解し、家族への支援やパートナーシップを構築するためのコミュニケーションの基本的な技術を習得する。</li> <li>・ 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な技術を習得する。</li> <li>・ 情報を適切にまとめ、発言するために、介護実践における情報の共有化の意義を理解し、その具体的な方法や情報の管理について理解する。</li> </ul>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
定期試験			60%	%	%	60%	
随時課題			5%	5%	%	10%	
出席率			%	%	%	15%	
授業態度			%	%	15%	15%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
使用テキスト・教材							
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2022 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2022』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2022』中央法規 『最新介護福祉士養成講座 コミュニケーション技術』中央法規 『2022 介護福祉士国家試験受験ワークブック上』中央法規							





シラバス (授業概要)					年度	2022年度
					科目コード	F2-K16
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Life support skillⅢ 生活支援技術Ⅲ					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	30	1	秋元 房枝	
授業の目的						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた会議実技を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの多様性を理解し、生活の豊かさや自立支援のための居住環境の整備について理解する</li> <li>・個々の状態に応じた家事を自立的に行うことを支援するための、知識・技術を習得する。</li> <li>・終末期の経過に沿った支援や、チームケアの実践について理解する</li> <li>・対象者の能力に応じた福祉用具を選択・活用する知識・技術を習得する</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業		
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
定期試験		60%	%	%	60%	
随時課題		5	5%	%	10%	
出席率		%	%	15%	15%	
授業態度		%	%	15%	15%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規						
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規						
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規						
『最新介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ』中央法規						
『最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ』中央法規						
『最新介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅲ』中央法規						



シラバス (授業概要)		年度		2022 年度		
		科目コード		F2-K18		
時間数は45分換算						
授業科目名				学科・コース		
Process of care II 介護過程 II				国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	120	4	前川有希子・森岡光秀	
授業の目的						
対象者の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、目標達成を目指した計画立案、根拠に基づく介護実践ができるようになるための思考過程を習得する学習とする。						
授業の到達目標						
① ICFの視点から、対象者の生活課題を理解できる ②対象者のかかえる生活課題が改善できる介護計画が立案できる ③協働する他の専門職のケア計画と個別介護計画の関係性、チームとして介護過程を展開することの意義や方法を理解する。 ④個別の事例を通じて、対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開につながる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期試験			60%	%	%	60%
随時課題			5	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規 『最新介護福祉士養成講座 9 介護過程』中央法規						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1 オリエンテーション	2		
2 介護過程1の復習、知的理解の確認	2		
3 介護施設利用者の情報収集	2		
4 介護施設利用者のアセスメント、課題分析	2		
5 介護施設利用者の介護計画、個別援助計画立案	2		
6 介護施設利用者の計画実施、評価	2		
7 ADL低下の利用者のアセスメント	2		
8 ADL低下の利用者の介護計画、個別援助計画立案	2		
9 ADL低下の利用者の計画実施、評価	2		
10 中等度認知症利用者のアセスメント	2		
11 中等度認知症利用者の介護計画、個別援助計画立案	2		
12 中等度認知症利用者の計画実施、評価	2		
13 他職種連携が求められる事例 アセスメント	2		
14 他職種連携が求められる事例 介護計画、個別援助計画立案	2		
15 他職種連携が求められる事例 計画実施、評価	2		
16 訪問介護サービス利用者のアセスメント	2		
17 訪問介護サービス利用者の介護計画、個別援助計画立案	2		
18 訪問介護サービス利用者の計画実施、評価	2		
19 通所介護サービス利用者のアセスメント	2		
20 通所介護サービス利用者の介護計画、個別援助計画立案	2		
21 通所介護サービス利用者の計画実施、評価	2		
22 医療的ケアの必要な利用者のアセスメント	2		
23 医療的ケアの必要な利用者の介護計画、個別援助計画立案	2		
24 医療的ケアの必要な利用者の計画実施、評価	2		
25 ターミナル期の事例 アセスメント	2		
26 ターミナル期の事例 介護計画、個別援助計画立案	2		
27 ターミナル期の事例 計画実施、評価	2		
28 実習で対応する介護過程事例の指導 ①	2		
29 実習で対応する介護過程事例の指導 ②	2		
30 実習で対応する介護過程事例の指導 ③	2		
31 実習で対応する介護過程事例の指導 ④	2		
32 実習で対応する介護過程事例の指導 ⑤	2		
33 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
34 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
35 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
36 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
37 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
38 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
39 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
40 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
41 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
42 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
43 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
44 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
45 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
46 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
47 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		
48 介護過程の展開の理解 (総合学習)	2		

49	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
50	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
51	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
52	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
53	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
54	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
55	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
56	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
57	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
58	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
59	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
60	介護過程の展開の理解（総合学習）	2	
<b>その他</b>		<b>関連科目</b>	

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F2-K20			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Comprehensive Care Seminar II 介護総合演習 II					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	村上 貴子	
授業の目的						
介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深めるとともに、各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につながる。実習を振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けて統合、深化させるとともに、自己の課題を明確にし専門職としての態度を養う。</li> <li>・質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解する。</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
定期試験		50%	%	%	50%	
随時試験		10%	%	%	10%	
随時課題		5%	5%	%	10%	
出席率		%	%	15%	15%	
授業態度		%	%	15%	15%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
『最新介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習』中央法規						



		⋮
		⋮
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>	





【参考文献】（出版：中央法規）  
 ・介護総合演習・介護実習（最新介護福祉士養成講座）

**授業内容・授業計画**

内 容	時間	課題 試験	評価
「実習施設・事業等（Ⅱ）」 施設実習：20 日間（200 時間：実時間 150 時間）			
個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった一連の介護過程のすべてを継続的に実践することに重点を置いた実習。			
* 介護実習Ⅱは、介護過程を展開し、利用者理解及び個別ケアの在り方を学ぶ実習。			
1 週目：利用者を 1 人受け持たせていただき、情報収集をする。			
2 週目：利用者の情報収集・分析をする。			
3 週目：利用者個々の心身の状態に応じた生活支援技術を実施する。			
4 週目：利用者の（生活上での）課題を明確化・再立案する			
5 週目：			
「実習施設・事業等（Ⅰ）」 居宅（通所サービス）実習：10 日間（100 時間：実時間 75 時間）			
利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者理解を中心とし、これに併せて、利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践、多職種協働の実践、介護実習の確認等を行うことに重点に置いた実習。			
1 週目：利用者の様々な暮らしの場を理解する。			
2 週目：さまざまな利用者に出会い、願いや思いにふれる。			
3 週目：利用者の家族ともコミュニケーションを図ってみる。			
実習において、1 週間に 1 度帰校日を設け実習の振り返りと指導を受ける。		○	○
実習期間中は、実習日誌（学校指定の書式）の記録を行う		○	△

<b>その他</b>	<b>関連科目</b>	

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	F2-K24	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
How mind and work II こころとからだのしくみII					国際介護福祉科2年		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	90	6	木村 安代		
授業の目的							
学生が介護を必要とする人の生活支援を行うために、介護実践の根拠となる人間の心理・人体の構造や機能を理							
授業の到達目標							
①こころとからだのしくみI ①ア・イ介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間の心理、人体の構造と機能の基礎的な知識を学習し介護の科目で知識を生かすことができる。							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
試験			60%	%	%	60%	
随時課題			5%	5%	%	10%	
出席率			%	%	15%	15%	
授業態度			%	%	15%	15%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
使用テキスト・教材							
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規 『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規 『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規 『最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ』中央法規 『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢこころとからだのしくみ』中央法規							

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. ア ころのしくみに関する概念 ・マズローの欲求・エリクソン・ピアジェ・フロイト	2		
2. ア ころのしくみの理解 ・記憶の分類 ・短期、長期記憶と種類 流動性結晶性・適応規制	2		
3. イ からだのしくみの理解 ・自律神経 大性神経 ・ホメオスタシス	2		
4. イ 人体各部のしくみ ・人体のつくり 骨格 内臓 ・口腔内 ・嚥下5期	2		
5. イ 脳と神経 ・神経分類・中核神経 脊髄神経	2		
6. イ 骨と筋肉 (4)・骨・筋肉	2		
7. イ 感覚器/皮膚(5)・眼・耳・舌・褥瘡	2		
8. イ 呼吸器 (6)・呼吸器の概要 ・酸素、二酸化炭素の交換	2		
9. イ 消化器 (7)・口腔から肛門まで・便秘の種類・尿失禁	2		
10. イ 泌尿器 (8)・泌尿器・生殖器からの概要	2		
11. イ 内分泌/先天性 (9)・内分泌の概要・ダウン症・脳性まひ	2		
12. イ 循環器(10)・循環器の概要・動脈と静脈・肺循環と体循環 ・心拍出量、回数	2		
13. イ 血液、リンパ(11)・血液、リンパの概要・血液成分	2		
14. イ 終末期・睡眠(12)・終末期 VS・死の受容過程・睡眠リズム・不眠の種類	2		
15. 定期試験	2	○	○
16. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
17. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
18. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
19. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
20. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
21. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
22. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
23. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
24. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
25. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
26. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
27. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
28. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
29. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
30. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
31. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
32. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
33. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
34. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
35. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		
36. イ からだのしくみの理解 (総合学習)	2		

37. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
38. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
39. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
40. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
41. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
42. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
43. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
44. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
45. イからだのしくみの理解 (総合学習)	2	
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>	
”		

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度		
					科目コード	F2-K26		
時間数は45分換算								
授業科目名					学科・コース			
Understnding development and aging II 発達と老化の理解 II					国際介護福祉科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	前期	必修	30	2	木村 安代			
授業の目的								
<p>学生が人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化及び老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的な知識を習得する学習とする。</p>								
授業の到達目標								
<p>・人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期（乳幼児期・学童期・思春期・青年期・成人期・老年期）における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病について学習する。</p> <p>・老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や、高齢者に多くみられる疾病と生活への影響、健康の維持・増進を含めた生活を支援するための基礎的な知識を得る。”</p>								
授業方式								
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型				
授業形態								
講義	○	演習	○	実験・実習・実技				
アクティブ・ラーニング								
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション				
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業				
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○			
その他								
成績評価の方法								
評価項目		評価観点			知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
試験					60%	%	%	60%
随時課題					5%	5%	%	10%
出席率					%	%	15%	15%
授業態度					%	%	15%	15%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
使用テキスト・教材								
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規								
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規								
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規								
『最新介護福祉士養成講座 発達と老化の理解』中央法規								
『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢ ところとからだのしくみ』中央法規								

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 発達段階と発達課題 ・フロイト・エリクソン・ハヴィガースト・ピアジェ	2		
2. 老化による知的機能の変化 ・流動性知能と結晶性知能 記憶の分類 ・ライチャード	2		
3. 脳神経系の疾患 ・頭蓋内出血・脳出血・パーキンソン病 ・一過性脳虚血発作	2		
4. 脳神経系の疾患 ・頭蓋内出血・脳出血・パーキンソン病 ・一過性脳虚血発作	2		
5. 感覚器系疾患 ・白内障 ・緑内障 ・糖尿病性網膜症 ・加齢性難聴	2		
6. 呼吸器疾患 ・誤嚥性肺炎・肺がん・慢性閉塞性肺疾患・呼吸不全	2		
7. 腎・泌尿器系の疾患 尿路感染・腎不全・尿失禁	2		
8. 骨・運動系の疾患 ・関節リュウマチ・骨折・骨粗鬆症 ・頸椎損傷	2		
9. 消化器系の疾患 ・胃潰瘍・大腸がん・肝炎	2		
10. 消化器系の疾患 ・胃潰瘍・大腸がん・肝炎	2		
11. 循環器系の疾患 ・狭心症・心筋梗塞・心不全 ・高血圧	2		
12. 循環器系の疾患 ・狭心症・心筋梗塞・心不全 ・高血圧	2		
14. 先天性/皮膚疾患 ・ダウン症候群 ・脳性麻痺 13. 内分泌系の疾患 ・バセドウ病 ・橋本病	2		
15. 定期試験	2	○	○
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>		



シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	F2-K28	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Understanding dement II 認知症の理解 II					国際介護福祉科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	木村 安代		
授業の目的							
<p>学生が認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得し、認知症の人を中心に捉え、本人や家族、地域の力を活かした認知症ケアについて理解するために基礎的な知識を習得する。</p>							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人の生活及び家族や社会との関わりへの影響を理解し、その人の特性を踏まえたアセスメントを行い、本人主体の理念に基づいた認知症介護に生かすことができる。</li> <li>・認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や、多職種連携・協働による支援の基礎的な知識を習得し実践につなげることができる。</li> <li>・認知症の人を支える家族の課題について理解し、家族の受容段階や介護力に応じた支援につなげることができる。”</li> </ul>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
試験			60%	%	%	60%	
随時課題			5%	5%	%	10%	
出席率			%	%	15%	15%	
授業態度			%	%	15%	15%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
使用テキスト・教材							
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規							
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規							
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規							
『最新介護福祉士養成講座 認知症の理解』中央法規							
『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢ ところとからだのしくみ』中央法規							



シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	F2-K30			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Understanding failures II 障害の理解 II					国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	2	佐野公一 ・ 木村安代	
授業の目的						
<p>学生が障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族や地域を含めた周囲の環境への支援を理解するための基礎的な知識を取得する学習とする。</p>						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医学的・心理的側面から、障害による心身への影響や心理的な変化を考えることができる。</li> <li>・ 障害のある人のライフステージや障害の特性を踏まえ、機能の変化が生活に及ぼす影響を理解し、QOL を高める支援につながる。</li> <li>・ 障害のある人を地域で支えるためのサポート体制や、多職種連携・協働による支援の基礎的な知識を習得することができる。</li> <li>・ 障害のある人を支える家族の課題について理解し、家族の受容段階や介護力に応じた支援につながる。</li> </ul>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
試験			60%	%	%	60%
随時課題			5%	5%	%	10%
出席率			%	%	15%	15%
授業態度			%	%	15%	15%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規						
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規						
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規						
『最新介護福祉士養成講座 障害の理解』中央法規						
『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢころとからだのしくみ』中央法規						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 感覚機能障害・身体障害・内部障害の復習	2		
2. 精神障害者 ・高次機能障害	2		
3. 知的障害 ・知的障害の介護 ・ダウン症	2		
4. 発達障害 ・発達障害の介護 ・自閉症	2		
5. 発達障害 ・学習障害 ・注意欠陥多動性障害 ・発達障害の 介護	2		
6. 難病 ・難病の種類と特性 ・パーキンソン病 ・全身性エリ テマトーデス	2		
7. 障害のある人の心理 ・障害受容の過程	2		
8. 障害者に対する連携と協働 ・地域におけるサポート ・チームアプローチ	2		
9. 障害福祉のサービス ・サービスの種類と内容 ・サービス利 用のまでの流れ	2		
10. 家族への支援 ・レスパイトケア	2		
11. 定期試験	2	○	○
12. まとめ	2		
13. まとめ	2		
14. まとめ	2		
15. まとめ	2		
<b>その他</b>		<b>関連科目</b>	
実務経験がある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度		2022年度	
		科目コード		F2-K31	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Medical care 医療的ケア				国際介護福祉科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	90	3	木村安代・佐野実幸
授業の目的					
①医療的ケアの実施の基礎 ②喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) ③経管栄養(基礎的知識・実施手順) ④演習 ア 喀痰吸引: 口腔5回以上 鼻腔5回以上 気管カニューレ5回以上 イ 経管栄養: 胃ろう又は腸ろう5回以上 経鼻経管栄養5回以上 * 救急蘇生法演習1回以上					
授業の到達目標					
①医療的ケアの実施に関する制度の概要及び医療的ケアと関連づけた「個人の尊厳と自立」、「医療的ケアの倫理上の留意点」、「医療的ケアを実施するための感染予防」、「安全管理体制」等についての基礎的な知識を習得することができる。 ②喀痰吸引について根拠に基づき、基礎的な知識、実施手順方法を理解し手技が実施できる。 ③経管栄養について根拠に基づき、基礎的な知識、実施手順方法を理解し手技が実施できる。 ④安全な喀痰吸引等の実施のため、確実な手技を習得できる。”					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
評価項目					
試験		60%	%	%	60%
随時課題		5%	5%	%	10%
出席率		%	%	15%	15%
授業態度		%	%	15%	15%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					

『わかる！受かる！介護福祉士国家試験 2021 合格テキスト』中央法規  
『見て覚える 介護福祉士国試ナビ 2021』中央法規  
『書いて覚える 介護福祉士国家試験国試ナビ 2021』中央法規  
『最新介護福祉士養成講座 医療的ケア』中央法規  
『外国人のための介護福祉士国家試験対策・新カリキュラムⅢころとからだのしくみ』中央法規

## 授業内容・授業計画

内 容	時間	課題 試験	評価
1. 医療的ケア実施の定義 医療的ケアとは	2		
2. 医療的ケア実施の要件 認定特定行為業務従事者 事務所登録	2		
3. 医療的ケアの安全な実施 実施の重要性 ヒヤリハット 出来事の影響分類	2		
4. 救急蘇生 救命曲線 救命の連鎖 一時救命措置	2		
5. 一次救命措置 胸部圧迫 気道確保	2		
6. 清潔保持と感染予防 感染要因 標準予防策	2		
7. 消毒と滅菌 感染状態の把握 観察 VS	2		
8. 急変状態 急変時の対応	2		
9. 喀痰吸引の概論 呼吸状態の観察 喀痰吸引 人工呼吸器	2		
10. 人工呼吸器と吸引 気管支カニューレ	2		
11. 子供の吸引 吸引時トラブル 家族対応	2		
12. 吸引の実際 吸引実施	2		
13. 吸引の実施	2		
14. 吸引の実施 吸引に伴う観察と確認	2		
15. 吸引に伴う観察と確認	2		
16. 医療に伴うケア	2		
17. 経管栄養とは	2		
18. 経管栄養のしくみと種類 胃ろう 腸ろう 経鼻警官栄養	2		
19. 経管栄養で注入する内容 栄養剤の条件 半固形化栄養剤	2		
20. 子供の経管栄養 注意点	2		
21. 経管栄養トラブル トラブルの対応	2		
22. 経管栄養を受ける利用者や家族への対応	2		
23. 経管栄養の実際	2		
24. 経管栄養の実施 準備 、設置の留意点	2		
25. 経管栄養の実施	2		
26. 経管栄養の実施	2		
27. 管栄養に必要なケア	2		
28. 喀痰吸引・経管栄養の報告と記録	2		
29. 喀痰吸引・経管栄養の報告と記録	2		
30. 定期試験	2	○	○
31. 演習（喀痰吸引）①	2		
32. 演習（喀痰吸引）②	2		
33. 演習（喀痰吸引）③	2		
34. 演習（喀痰吸引）④	2		
35. 演習（喀痰吸引）⑤	2		
36. 演習（喀痰吸引）⑥	2		
37. 演習（経管栄養）①	2		
38. 演習（経管栄養）②	2		
39. 演習（経管栄養）③	2		
40. 演習（経管栄養）④	2		

41. 演習（経管栄養）⑤	2	
42. 演習（経管栄養）⑥	2	
43. 演習（救急蘇生法の手順とポイント）①	2	
44. 演習（救急蘇生法の手順とポイント）②	2	
45. 演習（救急蘇生法）	2	
<b>その他</b>	<b>関連科目</b>	
実務経験がある教員が担当する科目である。		